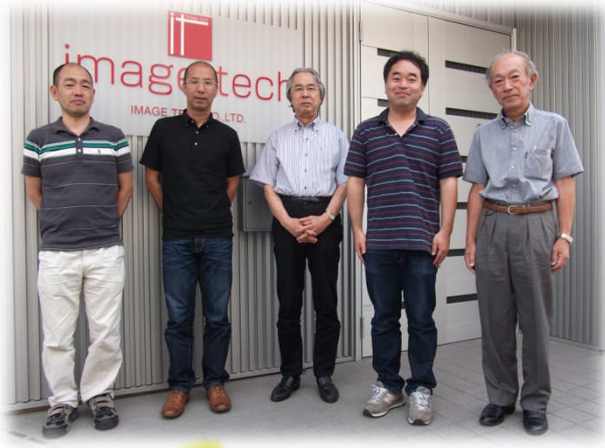


シリーズ 卒業企業訪問

イメージテック(株)さんは、地元の大手企業に長年勤められた菅社長が、平成12年に創業・設立したインラインX線検査装置の専門メーカーです。



HI-Cube開設直後の平成18年11月に入居され、カメラを組み込んだ検査装置の開発に取り組み、昨年の10月に卒業されました。



写真左から、伊藤さん・水野専務・菅社長・稲山さん・熊岡さん です。

■HI-Cubeに入居した経緯は？

メンバーが増え、それまでの事務所は手狭になったので、どこか広い場所はないかと探していたところ、新しくできたHI-Cubeが入居者を募集していることを知り、応募しました。

イメージテック(株)

〒432-8021
浜松市中区佐鳴台4-9-22

<http://www.imagetech-kk.com/>



■入居しての感想は？

入居していた期間はちょうど当社の成長期に当たっていたと思います。HI-Cube入居期間中に数件の補助金を獲得できたり、マスコミに取り上げていただいたりしました。これらのことを含め、HI-Cubeで当社を成長させることができたと思っています。

■これからの目標は？

ラインセンサカメラの業界で当社の知名度が上がってきていると実感しています。「X線ラインセンサといえばイメージテック」と言われるように、さらに知名度を上げていきたいと思っています。

■HI-Cubeでの思い出を一言

【菅社長】お昼休みにHI-Cubeの隣の和地山公園を散歩したことです。四季折々の季節感を楽しみ、仕事の疲れを癒し、リフレッシュすることができました。

【水野専務】2階の交流ラウンジで他の入居企業の社員さんたちと色々おしゃべりしたことです。展示会などでその人たちと再会すると、以前に戻って話が弾みます。

シリーズ HI-Cube 突撃隊！

浜松地域では、HI-Cubeに限らず様々な支援機関・団体が新事業の創出を応援しています。

このコーナーでは、こうした取り組みについて紹介します。



第1回目は、浜松工業技術支援センターの吉岡さんより、6月11日に研修交流センターで行われた第5回研究・開発成果発表会についてお話を伺いました。



◆研究・開発成果発表会とはどんなものなのでしょうか？

県西部地域における大学・試験研究機関の研究者と企業の技術者との交流の促進及び、次代の研究・開発に必要な情報を共有する場であり、とりわけ従来からある単独機関の研究者による発表会ではご参加いただけなかったような幅広い分野からのご来場者とのネットワーク形成の促進を目的とした発表会です。

◆入居者・地域企業の皆様へ一言

静岡県工業技術研究所 浜松工業術支援センターでは、現在、次の①～⑤の5分野に力点を置いた研究課題に取り組んでいます。

①光技術分野

「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」レーザ加工技術をコア技術とした医療用及び医学研究用機材の製作、金属等の三次元造形技術の開発、熱影響の少ない加工技術の開発

②電子技術分野

1GHz超の高周波帯域も測定可能なシールド効果測定法の開発

③機械技術分野 & ④材料技術分野

次世代自動車の素材加工技術 及び その評価技術に関する研究開発

⑤繊維技術分野

繊維強化複合材料の製造・加工技術の開発と用途展開

これらの研究以外でも、随時お受けしております各技術分野に関する技術相談及び各種機器を用いた測定・分析・試験等で、今後も地域企業の皆様のお役に立てるよう努力して参ります。宜しくお願い申し上げます。